

# 令和8年度 学校経営計画書

学校番号	77	学校名	浜松大平台高等学校	校長名	川村 勇夫
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 スクールミッション

校訓「未来を拓く」のもと、キャリア教育を推進し、多様な進路希望に対応する充実した教育環境を有する浜松地区の全日制総合学科の高校として、3年間を貫いた探究活動を柱としながら、6つの系列をはじめとする多様な学びの機会（教科・科目）を自ら選択し、教科横断的な視点・学力を獲得できる総合学科の強みを生かした教育を通して、コミュニケーション能力、様々な視野・感受する力、デザイン思考力等を身につけ、地域のリーダーとして、地域社会を支え、国内外で活躍できる人材の育成を目指す。

## 2 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～</p> <p>(1) キャリアデザイン力（将来を見据えた進路決定力）</p> <p>(2) 基礎学力（基礎力と専門性を兼ね備えた確かな学力）</p> <p>(3) 言語力（読む・書く・話すための言語力）</p> <p>(4) コミュニケーション能力（他者と協働・共生できるコミュニケーション能力）</p> <p>(5) 広い視野と感受する力（ローカルからグローバルまで広い視野で物事を感取する能力）</p> <p>(6) デザイン思考力（自らの課題と解決方法を主体的に模索するデザイン思考力）</p> <p>(7) 心身の健康（生涯を通じて健全な生活を送るための心身の健康を保持する力）</p>	<p>～本校ではこのような学びを行います～</p> <p>(1) 産業社会と人間（1年次）で自らの進路について考える力を養い、総合的な探究の時間、課題研究等（2, 3年次）を基軸に課題設定・課題解決力を高める探究活動に取り組みます。</p> <p>(2) 人文科学、自然科学、花と緑（農業・食品）、芸術デザイン（芸術・工業）、国際情報ビジネス（商業）、福祉健康（福祉、家庭、スポーツ）の6系列を設置し、主体的な選択のもと、幅広い学びの実現に取り組みます。</p> <p>(3) 進学から就職まで多様な進路選択の機会とともに、地域連携、外部人材の活用等、実践的な学びを取り入れ、社会人として求められる素養の定着を目指した教育活動に取り組みます。</p>	<p>～本校ではこのような生徒を求めています～</p> <p>(1) 総合学科の多様な学びの可能性を理解し、夢を持って未来を切り拓こうとする生徒</p> <p>(2) 生活習慣が確立し、中学校での学びを基礎とし、充実した学校生活を送る意欲がある生徒</p> <p>(3) 他者と共生し、相互に尊重しながら、協働して物事に取り組もうとする生徒</p>

## 3 スクール・ポリシー具現化の柱

- ア キャリア教育を根幹とし、3年間を通じた進路指導の充実を図る。
- イ 総合学科の強みを生かした授業改善と、教科横断的な学力の獲得に努める。
- ウ 読書やN I Eの活用を通じて、生徒の言語能力の充実を図る。
- エ 教育活動の中でプレゼンの機会を多く設け、知識の出し入れを頻繁に行うようにする。
- オ 地域との連携を深め、生徒・保護者・地域の人々に信頼される学校づくりに努める。
- カ 部活動や特別活動の充実に努め、たくましさや豊かな心を培う。
- キ 安全・安心で心地よい教育環境を確保する。
- ク 学校事務の適正な執行に努めるとともに、業務改善を行うことで、職員の多忙化を解消する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担 当 部 署
ア	<b>1年次から高い志の育成や体系的なキャリア教育を推進し、進路希望の実現を図る。</b>	自己理解を深め、進路希望を早期に確立させる。	「将来に対する夢や希望を持っている」と答える生徒 75%以上	進路課 教務課 生徒課 保健課 各年次 各系列
		キャリア教育に結びついた系列学習を推進する。	各系列で地域・大学・企業等と連携した活動をする。	
		自己肯定感・自己有用感を育成する。	「自分にはよいところがある」と答える生徒 80%以上 「ボランティア活動をしたことがある」と答える生徒 30%以上	
		自己の進路を実現させる。	「自分の希望する進路が実現できた」（3年次生のみ）と答える生徒 80%以上	
イ	<b>基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を高める。</b>	「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツール等を活用し、学力向上のために指導方法の工夫・改善を図る。	到達度テスト正答率 60%以上 「授業がわかる」と答える生徒 80%以上 高校生のための学びの基礎診断」を授業改善に生かしたと答える教員 100%	教務課 研修課 各教科
ウ	文章に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	朝読書を確実に実践し、読書の楽しさを実感させる。	「朝読書の時間に読んだ本の数、年間5冊以上」の生徒 30%以上 「図書委員・先生方のおすすめの本」を定期的に発行する（サイネージで周知）	図書課
エ	授業や学校行事などにおいて、他者と協働して意見交換する機会を多く設ける。	他者の意見を聞き、自分の考えを再構築する力を養う。	「他者の意見を聞き自分の考えを深めることができた」と答える生徒 80%以上	各系列 各教科
		考えたことをわかりやすく伝える力を養う。	「自分の考えをわかりやすく伝えることができるように努力した」と答える生徒 80%以上	各系列 各教科
オ	<b>保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。</b>	本校の教育活動に関する情報収集・発信をする。	インスタグラム・HPへの地域貢献活動の掲載・更新 掲載記事 100件 PTA広報誌「桑の木だより」の年2回発行、内容の充実	図書課 各系列 総務課
		学校行事に多くの来訪者がいる。	一日体験入学、文化祭への来訪者の増加 昨年度比 10%増	教務課 生徒課 各年次
		生徒・保護者から信頼される教員、学校になる。	「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 「わが子をこの学校に入れてよかった」と答える保護者 95%以上	
		挨拶を励行する。	「近所の人や知り合いの人に挨拶をしている」と答える生徒 90%以上	
カ	個性の伸長をはかり自主的・実践的態や望ましい人間関係を形成する力を養う。	集団活動を通して、責任感や協調性を育む。	「学校行事・委員会活動・部活動等をとおして責任感・協調性が育まれた」と答える生徒 85%以上	生徒課 各年次
		充実感のある部活動を推進する。	「部活動は活発で充実した活動を行っている」と答える生徒 80%以上	生徒課 部活動

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
キ	生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行う。	指導・支援により心身の健康回復を図る。	「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見・早期対応 歯科及び視力治療率 50%以上	保健課 総務課 事務部
		防災・減災の能力を高める。	体験型避難訓練の実施 災害時の留め置き用装備品の完備と防災用具の取扱研修の実施	
		学校施設・設備の整備・充実を図る。	安全点検を年2回以上実施 PFI 事業終了後の管理体制を構築し、スピーディな修繕により事故ゼロ	
ク	教育活動が行われるための環境を整えるとともに、業務改善により職員の多忙化を解消する。	光熱水費を節約する。 予算を有効に執行する。	光熱水費の節約を教職員に呼びかける。 節約した予算を教育活動に振り分ける。	事務部
		時差通勤の制度を活用し、時間外勤務を縮減する。	定時退勤日(毎週水曜日)の設定 部活動の週1日以上の日設定 ペーパーレスに取り組む	管理職